



デジタル空間における 情報流通の健全性確保に関する検討について

令和6年11月
総務省

1. 検討事項

① デジタル空間を活用したサービスの普及・情報通信技術の進展等の状況：（例）生成AI、メタバースなど

② 新たな課題と各ステークホルダーによる対応状況：

（例）生成AI等による巧妙な偽・誤情報の生成や拡散に伴う社会的な影響の深刻化、メタバースにおけるデータの取得・利用に係る対応の重要性、国境を越えた情報・データ流通の広域化や迅速化に伴う国際的な協調の必要性など

③ 今後の対応に当たっての基本的な考え方：

（例）基本理念：信頼性のある自由な情報流通、表現の自由、知る権利、青少年を含む利用者保護、デジタルシティズンシップなど
各ステークホルダーの役割：デジタルプラットフォーム事業者、生成AI事業者、仮想空間関係事業者、通信・放送事業者、利用者など

④ デジタル空間における情報流通の健全性確保に向けた具体的な方策：

（例）多様なステークホルダーによる協力関係の構築、ファクトチェックの推進、幅広い世代に対するリテラシーの向上、情報発信者側を含む自主的取組の推進、研究開発の推進、国際的な対話の深化、生成AI・メタバース関連事項など

2. 構成員

※法律（憲法・メディア・情報）、技術、データ分析、認知科学・心理学、ジャーナリズム、プライバシー、サイバーセキュリティ、消費者保護等の専門家。以下、座長・座長代理以外は、50音順。

- 穴戸 常寿（東京大学大学院法学政治学研究科教授）【座長】
- 山本 龍彦（慶應義塾大学大学院法務研究科教授）【座長代理】
- 生貝 直人（一橋大学大学院法学研究科教授）
- 石井 夏生利（中央大学国際情報学部教授）
- 越前 功（国立情報学研究所情報社会相関研究系教授）
- 江間 有沙（東京大学国際高等研究所東京カレッジ准教授）
- 奥村 信幸（武蔵大学社会学部教授）
- 落合 孝文（渥美坂井法律事務所・外国法共同事業
プロトタイプ政策研究所所長・シニアパートナー弁護士）
- クロサカ タツヤ（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任准教授）
- 後藤 厚宏（情報セキュリティ大学院大学学長）
- 澁谷 遊野（東京大学大学院情報学環准教授）
- 曾我部 真裕（京都大学大学院法学研究科教授）
- 田中 優子（名古屋工業大学大学院工学研究科基礎類教授）
- 増田 悦子（公益社団法人全国消費生活相談員協会理事長）
- 水谷 瑛嗣郎（関西大学社会学部メディア専攻准教授）
- 森 亮二（英知法律事務所弁護士）
- 安野 智子（中央大学文学部教授）
- 山口 真一（国際大学グローバル・コミュニケーション・センター准教授）
- 山本 健人（北九州市立大学法学部准教授）
- 脇浜 紀子（京都産業大学現代社会学部教授）

※ その他、関係団体や関係省庁がオブザーバとして参加

情報流過程全体に共通する高次の基本理念

- **表現の自由と知る権利の実質的保障及びこれらを通じた法の支配と民主主義の実現**
…自由な情報発信と多様な情報摂取の機会が保障され、個人の自律的な意思決定が保護されるとともに、これを通じ、表現の自由や知る権利以外の様々な権利利益（営業の自由など）にも配慮したルールに基づく健全な民主的ガバナンスが実現すること
- **安心かつ安全で信頼できる情報流通空間としてのデジタル空間の実現**
…平時・有事（災害発生時等）を通じ、アテンション・エコノミーを構造的要因とするものを含め、偽・誤情報や悪意ある情報の流通による権利侵害、社会的混乱その他のフィジカル空間への影響が抑止されるとともに、情報流通の過程全体を通じ、サイバー攻撃や安全保障上の脅威等への対抗力が確保された強靱なデジタル空間が実現すること
- **国内外のマルチステークホルダーによる国際的かつ安定的で継続的な連携・協力**
…デジタル空間に国境がないことを踏まえ、国内外の民産学官を含むマルチステークホルダーが相互に連携・協力しながらデジタル空間における情報流通に関するガバナンスの在り方について安定的かつ継続的に関与できる枠組みが確保されていること

情報流通の過程ごとに具体化

情報発信に関する基本理念

- **自由かつ責任ある発信の確保**
…自由かつ、ジャーナリズムやリテラシーに裏付けられた責任ある発信が確保されていること
- **信頼できるコンテンツの持続可能な制作・発信の実現**
…信頼できる魅力的なコンテンツの制作・発信（ファクトチェックを含む）に向けたリソースが安定的かつ継続的に確保され、そうした活動の透明性が確保されるとともに、その価値が正当に評価されていること

情報受信に関する基本理念

- **リテラシーの確保**
…受信者において技術的事項を含むリテラシーが確保され、デジタル社会の一員としてデジタル空間における情報流通の仕組みやリスクを理解し、行動できること
- **多様な個人に対する情報へのアクセス保障とエンパワーメント**
…個人の属性・認知的能力や置かれた状況の多様性を考慮しつつ、あらゆる個人に対してデジタル空間における情報流通への参画と意思決定の自律性確保の機会が与えられていること

情報伝送に関する基本理念

- **公平・オープンかつ多角的な情報伝送**
…多角的で信頼できる情報源が発信する情報が偏りなく伝送（媒介等）されていること
- **情報伝送に関わる各ステークホルダーによる取組の透明性とアカウントビリティの確保**
…プラットフォーム事業者や政府を含む関係者の取組・コミュニケーションの透明性が確保されるとともに、それらの取組等や透明性確保につき責任を負うべき主体・部門が特定され、明確であり、当該主体・部門から責任遂行状況について十分に説明してもらうことが可能な状態にあること
- **情報伝送に関わる各ステークホルダーによる利用者データの適正な取扱いと個人のプライバシー保護**
…個人情報を含む様々な利用者データの適正な収集・利活用とそれを通じた個人の意思決定の自律性が確保され、個人のプライバシーが保護されていること

- デジタル空間における情報流通の健全性を巡るリスク・問題はますます悪化することが見込まれており、情報伝送プラットフォーム事業者をはじめとするステークホルダーの個々の自主的な取組のみに委ねてはデジタル空間における情報流通の健全性が脅かされ、ひいては実空間への負の影響を看過し得なくなるという強い危機感を持つことが必要。
- そこで、デジタル空間における情報流通の健全性確保のための具体的な方策として、総合的な対策を検討し、様々なステークホルダーの連携・協力の下で、迅速かつ効果的・効率的に対応を進めていくことが必要。

1 普及啓発・リテラシー向上

- ・ 普及啓発・リテラシー向上に関する施策の多様化
- ・ マルチステークホルダーによる連携・協力の拡大・強化 等

2 人材の確保・育成

- ・ コンテンツモデレーション人材
- ・ リテラシー向上のための教える人材 等

3 社会全体へのファクトチェックの普及

- ・ ファクトチェックの普及推進
- ・ ファクトチェック人材の確保・育成 等

4 技術の研究開発・実証

- ・ 偽・誤情報等対策技術
- ・ 生成AIコンテンツ判別技術 等

5 国際連携・協力

- ・ 偽・誤情報等対策技術の国際標準化・国際展開の推進
- ・ 欧米等とのバイやG7・OECD等とのマルチ連携・協力の推進 等

6 制度的な対応

- ・ 情報伝送PF事業者による偽・誤情報への対応
- ・ 広告の質の確保を通じた情報流通の健全性確保 等

- ① 情報流通プラットフォーム対処法の早期施行に向けた省令・ガイドライン等に関する検討や
- ② プラットフォームサービス上の情報流通に係る更なる制度整備の在り方を検討するため、「デジタル空間における情報流通の諸課題への対処に関する検討会」(座長：宍戸 常寿 東京大学大学院 法学政治学研究科 教授) を開催 (第1回：10月10日)。

【主な検討事項】

- ① 情報流通プラットフォーム対処法の施行に向けた省令・ガイドラインの検討 → 検討会本体
- ② 「デジタル空間における情報流通の健全性確保の在り方に関する検討会」(9月10日とりまとめ公表)で提言された「制度的対応」の更なる深掘り(デジタル広告関係を除く。) → 制度ワーキンググループ
- ③ デジタル広告の流通の在り方 → デジタル広告ワーキンググループ
- ④ その他必要な事項

制度ワーキンググループ
※ デジタル広告以外

デジタル広告
ワーキンググループ

WG

(必要に応じて)

※主な検討事項のうち、制度的対応やデジタル広告の流通の在り方については、親会の下にWGを設置し、集中的に議論する(WGの構成員は、親会メンバーの一部に加え、専門家に依頼)。

【構成員(敬称略)】(9名)

- 宍戸 常寿 東京大学大学院 法学政治学研究科 教授 【座長】
 - 生貝 直人 一橋大学大学院 法学研究科 教授
 - 上沼 紫野 LM虎ノ門南法律事務所 弁護士
 - 大谷 和子 株式会社日本総合研究所 執行役員 法務部長
 - 曾我部 真裕 京都大学大学院法学研究科 教授
 - 森 亮二 英知法律事務所 弁護士
 - 山口 真一 国際大学グローバル・コミュニケーション・センター 准教授
 - 山本 龍彦 慶應義塾大学大学院法務研究科 教授
 - 増田 悦子 公益社団法人全国消費生活相談員協会理事長
- 【オブザーバー】 法務省